

1. 「2017年ブータン英語教育」研修旅行

本稿は筆者らが参加した「2017年ブータンの英語教育」（主催：ベストワールド株式会社）と題した研修旅行の記録、および杉本（2016）やMinistry of Education Royal Government of Bhutan（2013）などの参考文献を基に「ブータンのイマージョン教育」について報告するものである。この研修旅行は2017年3月25日から31日までの7日間にわたり実施され、15名（女性12名、男性3名、全員が小中高校、大学、または各種学校に英語教員として勤務している）の参加があった。日本「アジア英語」学会（JAF AE）からは、3名の会員（筆者である橋内、加藤、齋藤）が参加した。旅程は下の表1に示す。今回はティンプー（Thimphu）とパロ（Paro）を訪れて合計3つの学校を訪問し、授業見学に加えて各学校の教員とのディスカッションの場が設けられた。また、ブータンの文科省教育担当官によるレクチャーを受け、質疑応答する機会もあり、充実した内容であった。

表1. 「2017年ブータン英語教育」研修旅行日程表

月日	内容
2017年 3月25日	東京⇒バンコク（JAL031便）
3月26日	バンコク⇒パロ（KB141便） キチュ・ラカン（ブータン最古の寺院）とパロ・ゾン、ニヤマイ・ザム（旧吊り橋）を見学 パロ⇒ティンプー（バス）
3月27日	私立ティンプー小学校、授業見学、懇談会 文部省教育担当官 プンツォ・ワンジ氏（Mr. Phuntsho Wangdi : Chief Programme Officer, School Planning and Coordination Division）の "Education System of Bhutan" のレクチャーを聴講
3月28日	公立ランゴ中学校、授業見学、懇談会 ティンプー⇒パロ（バス）
3月29日	私立ヨゼリング高校、授業見学、懇談会 ダショー西岡京治記念館と織物工場を見学
3月30日	パロ⇒バンコク（KB130便）
3月31日	バンコク⇒東京（JAL034便）